

地域課題・目指す将来像

地域課題

- 世界遺産、日本遺産など、歴史文化が豊富で、柿を代表としたフルーツの町だが、**人口減少等の影響で産業が衰退している**
- 若年人口の流出を抑制するため、**町内での就労環境の構築が必要**
- 町域が広く、**行政サービス、医療サービスなどに地域間格差がある**
- 高齢化率40%を超え、**高齢化社会に対応した生活基盤の整備が必要**

将来像

- 地域資源（世界遺産・フルーツ・大型商業リゾート）を活かし、新たな関係性（交流人口・バーチャル住民・地域住民）をメタバース空間と実フィールドで創出。
  - 医療・行政DXの推進
- ⇒地域産業の活性化、地域格差を解消し、誰もが暮らしやすいまちへ

推進体制

名称：かつらぎ町未来技術地域実装協議会

地方公共団体	かつらぎ町
国（★は現地支援責任者）	★内閣官房（デジタル田園都市国家構想実現会議事務局）、デジタル庁（国民向けサービスグループ）、警察庁（交通局）、総務省（近畿総合通信局）、厚生労働省（近畿厚生局）、経済産業省（近畿経済産業局）、国土交通省（近畿地方整備局・近畿運輸局）
未来技術関連企業	(株)ミモナ、アクアイグニス(株)、大日本印刷(株)、MRT(株)、(株)オリエンタルコンサルタンツ
地域事業者、地域関係者	

課題解決に向けた取組

①メタバース空間とリアルな場との相互連携による交流・関係人口創出事業【IoT、クラウドコンピューティング】

- 地域内外の人がいつでも使える**メタバースの構築**（観光・医療・教育）
- CRMを導入し、何度も訪れる、何度も地域特産品を購入したくなる管理体制構築
- 施設内**フル顔認証決済サービス**（手ぶら買い物サービス・デジタル地域通貨の導入）
- モビリティポート等活用した**自動運転バス周遊サービス**

②データ連携基盤から医療・行政DXを図り、『ここが最高』と思わせるまちづくり【AI、5G】

- **行政サービスのDX化**（顔認証による共通ID、デジタルコンシェルジュ）
- 観光メタバースに留まらない、地域住民・域外住民（バーチャル）が参加できる**医療・行政DX**による各種行政サービスを提供
- **AIヘルスチェック**やIoTによる高齢者見守りサービス構築
- 医療DXサービス利用促進としてデジタル通貨と連動した、利用者が地域で使える特典・サービス導入検討